

東京歯科大学同窓會々報

新入会員諸君を迎える

会長 福島秀策

六ヶ年の螢雪の功空しからず、三月二十五日卒業せられた諸君を心から祝福いたします。諸君は、卒業と同時に我が東京歯科大学同窓会員として遇せられることになって、既に既にご了解を得た通りであります。

さて、これからの皆さんの生活は社会人としての生活で、今までの他力的生活とは画然たる一線を画するものでありまして、今日こそ、新しい人生航路の出発と考へなければならぬのであります。この航路必ずしも平穩無事とのみは考へられません。時に風波の激しさに打ちのめされようとする場合もありましょう。災難は忘れた頃に來るといふ諺もあるとおり、順風に帆を挙げて得意の境にある時が最も心を引きしめなければならぬのであって、己の不用意のためばかりでなく、全く予期せざることのおそいかることがあるのであります。我々はまず、人として叡智を身につけ、災難を恐れず、対処に時を失わず、苦難を直ちに消化し得る如き準備を忘れてはならないものであります。

私は、これからのあなたがたの前途に横わる苦難を乗り越える力となるものは、何といつても健康以外にないと思うのであります。健康こそ全ての基盤をなすものでありまして、生ある限り一時も忘れてならないことであります。この堅固な船を操るに強固な意志を持つ船長こそ不可欠の条件であつて、これでこそ荒波も乗り越すことが出来るのであります。

勤勉は人としての美德であります。今日世の人はややもすると勤勉を敬遠して気の向くままの行動に入らうとするきらいがあります。ことに選んだ歯科医業は、ことごとく勤勉を要求せられるのであります。勤勉は強固な意志に根ざすのでありまして、家業としての医業はいうに及ばず、社会人としての信用はこにまず楔を打ちこむものと考えたいのであります。医療行為の成否も亦この信用即ち患者と医者との信頼関係が基本となるのであって、私たちがこの点に思いを致し、人としての修養練磨を怠つてならないと思うのであります。

血脇先生がさとされた「歯科医である前に人であれ」というこの千古の名言こそ我が母校の学風を語るものとしていつの代までも語あつづけなければならぬのであります。これこそこれから世に出て人としての修養に一步をふみ出すあなたがたに対し無上の餞けの言葉と思ひます。

新入会員諸君の健康を祈り前途を祝つて歓迎の辞といたします。

御案内

●六月講演会

◇日時 六月二十二日(日)午後一時—五時 ◇場所 母校講堂
◇演題 これだけは、是非同窓にお伝えしたい外遊中、専門の立場からみて、最も感銘したことがら。

◇講師 (微生物)高橋一郎助教授。(補綴)羽賀通夫教授
(口腔外科)高橋庄二郎教授

◇大変に長い演題ですが、お話の内容を最もよく表現していると思います。三人の講師の目を通して見た世界の歯科医学をじっくり伺えることができます。御期待下さい。

●夏期講習会

◇日時 自七月十四日(月)至七月十九日(土)

◇方法 一日二乃至三科目 小児歯科・矯正・保存・口腔外科、補綴、理工、放射線。以上七科目。

◇内容と講師 補綴、矯正各三日間 他は二日間 詳細は次号発表

科目	内容	講師	定員	受講料
小児歯科	小児の取り扱いと乳歯矯正	町田幸雄助教授 今西孝博助教授	〇名	〇,〇〇〇円
矯正	矯正診断の立て方と日常みられる比較的易しい反対咬合について	山本義茂教授 瀬正之助教授 山口定彦助教授	〇名	五,〇〇〇円
保存	適正な抜髄法ならびに根管充填法と、その偶発症予防法。	関根永滋教授 石川達也教授	〇名	〇,〇〇〇円
口腔外科	口腔外科の基本手技	長尾喜景教授 高橋庄二郎教授 中久喜喬教授	〇名	〇,〇〇〇円
補綴	臼歯部の金属焼付ポリアルセレンク라운の実際	羽賀通夫教授 他	〇名	五,〇〇〇円
理工	歯科材料の生きた使	金竹哲也教授 野口八九重助教授 高橋重雄助教授 富田トク子講師 他	〇名	〇,〇〇〇円
放射線	撮影と読像	岩野孝助教授 他	〇名	〇,〇〇〇円

●東京歯科大学学会(例会)

◇日時 六月二十一日(土)午後一時より

◇場所 母校教室

第七十四回

卒業式挙行される

新卒業生百四十八名

東京歯科大学第七十四回卒業証書授与式は恒例に従い三月二十五日(火)午後一時三十分より母校ホールにおいて挙行された。

長尾学生部長の司会により国歌斉唱、つづいて北村学監より学事報告が行なわれた。現在本学に在籍する学生数は進学課程三百四十六名、専門課程六百四十六名、計九百九十二名である。これらの学生の教育にあたる専任者は教授四十四名、助教授三十二名、講師五十八名、助手五十六名、合計百九十名で、このほか非常勤講師九十三名である。今回の卒業生は前記在籍者のうち百四十八名である。

これを大学設置以来の卒業生と合すると千二百五十三名となるが、高山歯科医学院創立以来の卒業生と通算すると八千五百五十七名となる。

卒業生は一人一人と杉山学長より卒業証書を授与された。つづいて卒業生に対し、「医はこれ齊生

ひとえに仁なり」と校歌の一節を引用された温情あふるる学長告辞があった。石河理事長、福島同窓会長がそれぞれ祝辞を述べられた。在学生の送辞、卒業生代表の答辞、校歌合唱が行なわれ四時盛大裡に終了した。

式後、記念品の贈呈式が行なわれ、福島同窓会長より新卒業生である新同窓会全員に同窓会、ベッジと金一封、また日本歯科医師会より同窓の高原日歯副会長が代表して記念品を贈呈した。さらに、卒業生は、卒業記念にホールに四基のシャンデリアを寄贈し、この卒業式を燦然と照らし輝かしきものとした。

ひきつづき第一教室において全教授と父兄との懇談会が行なわれ、たさらに午後五時半より赤坂ブリンスホテルにおいて謝恩会が開催され、卒業生、教職員、父兄共々、在学六年間をふりかえり終始なごやかに歓談した。

山本理事の司会によって行なわれてきた。「同窓会に何を望むか」は、昨年より三回目を迎え、活発な意見が繰出した。話題の中心は医政に関する問題と学術会議員選挙に関する事柄、さらに同窓子弟の母校に対する入学についてなどであった。これらの話題はいつでも本会の今後のありかたに關連し、大いに議論されなければいけないことであろう。

講演は、昨年ペルーに渡航された東歯山岳部OBのアンデス遠征隊団長の渡辺富士夫教授から、現代におけるインディオの生活とインカの遺跡および文化、ならびに遺骨よりみた口腔内状態について美しいカラー 슬라이ドで説明があった。インディオの口腔調査の結果は目下検討中とのこと。今後の発表を期待したい。

同隊がなしとげたアキルボ峰初登攀については隊長の依田雄弘氏より雄大なカラー スライドで説明があり、出席された同窓は、初登攀の苦勞と感激を直かに知ることができた。

つづいて、本学保在学の長谷川正康助教授から「歯内(保存)療法でどの程度までの根端病巣は癒しうるか」と題して、豊富な症例とその治療経過のX線写真を中心として解説していただいた。特に失敗例にも言及され、日常の臨床で大いに参考になった。

本部短信

2月11日 茨城県支部総会木村理

2月14日 臨時役員会

2月15日 会報一二七号発行

2月23日 二月定例役員会

2月26日 鹿島俊雄後援会打合せ

3月2日 在京歯科大学同窓会懇

3月2日 談会

3月2日 宮下一郎氏見舞金礼状並びに報告書発送(支部長宛)

3月7日 会則改正小委員会

3月10日 医政部第二部会

3月12日 東京歯科大学同窓会懇

3月17日 学術委員会

3月18日 日歯役員・代議員懇親

3月18日 会

3月18日 三月定例役員会

3月20日 会則改正小委員会

3月29日 群馬県支部総会

支部長評議員交歓

函館支部長 9 上野藤博

旭川支部評議員 18.9 千葉久雄

同 19.9 飯田精一

同 27 野沢 昭

同 27 野沢 昭

同 27 野沢 昭

同 27 野沢 昭

同 27 野沢 昭

同 27 野沢 昭

同 27 野沢 昭

同 27 野沢 昭

同 27 野沢 昭

同 27 野沢 昭

逝去会員

13 葛西 貞幹 年月不詳 北多摩

14 高橋 常保 翌二・三 空 知

15 大江 河吉 衛 翌二・三 埼玉

16 大若 田部 敏行 翌二・三 世田谷

17 推谷 内 照藏 翌二・三 品川

18 大森 合 芳男 翌二・三 福島

19 明 桜井 隆治 翌二・三 千葉

20 推 鈴木 千代寿 年月不詳 広島

21 別 神尾 一彦 翌二・三 青森

22 工 藤 守邦 翌二・三 青森

23 11 水津 要一 翌二・三 青森

24 16.12 野村 稔 翌二・三 愛知

25 16.12 伊藤 春雄 翌二・三 長野

26 44 明松 本信太郎 翌二・三 港 区

27 27 佐藤 友一郎 翌二・三 函 館

28 44 明 浜 潭 翌二・三 南 信

29 10 大 中 井 機市 年月不詳 奈良

30 2 大 石 田 亘 翌二・三 兵 庫

31 2 推 江 田 安太郎 年月不詳 岡山

32 6 小 倉 武夫 翌二・三 群 馬

33 推 古 城 正哉 翌二・三 神 奈 川

34 6 大 宮 永登 翌二・三 杉 並 区

35 17.9 矢 島 五助 翌二・三 長 野

36 謹んで右の方々の冥福をお祈りいたします。

学位受領者紹介

医学博士



北原 祐佐君

昭和三十三年

卒日本大学

学部特別研究

員、法医学専

攻、主論文「歯牙硬組織の経年的

変化一日大医学雑誌第二十七巻第

八号指導主査 上野佐教授

同窓会二月例会開かる

恒例の二月例会は第一七七回東

三日(日)母校第四教室に多数の

同窓の出席のもとに開催された。

抗生物質・II—セファロリジンおよび複合抗生物質を中心にして

佐々木 次郎

【セファロリジン・CER】

本剤は1バイアル250mg, 500mg, 1000mgの3種があり、注射用蒸溜水あるいは生理食塩液で溶解して筋注します。私達は鳥居薬品の商品名セボランを用いています。このセファロジン系の抗生物質は、腸管から吸収されないのが経口投与ができないことと、構造がペニシリンに似ているために使用前に皮内テストをしなければならぬのが欠点です。しかし、本剤の抗菌力はとびぬけて強く、私達が報告した感受性試験の結果でも、投与例の90%に臨床的効果が期待できるという答が出ています。実際に私達も、重症のフレグモネや顎炎などには、まずこのセボランを使用するのを原則として良い成績を得ており、最も頼りになる抗生物質といえましよう。

セボラン(鳥居薬品)

1バイアル 250mg, 500mg, 1000mg

1日量 1000mg~2000mg 筋注

他に1mlに300mcgを含有するテスト液があります。私達の経験では、皮内テストの陽性例はほとんどありませんが、やはり面倒でもテストをした方が安心です。

【クロラムフェニコール】

本剤は血液障害を起こすことがあるので、慎重に投与する必要があります。厚生省からも、その旨の注意書をつけることが指示されています。最近私達は第一選択剤として用いることは避け、感受性試験の結果を見て適応のあるものに用いるようにしています。

【ペニシリン】

今ではペニシリンといえば、合成された内服ペニシリンのことを指すといっても差支えないでしょう。

経口ペニシリンの種類	商品名の例
1. フェノキシエチルペニシリン(PE-PC)	シンシリン(万有)・シンセペン(明治)
2. フェノキシプロピルペニシリン(PP-PC)	トレスシリン(藤沢)・シンセペンP(明治)
3. アミノベンジルペニシリン(AB-PC)	ビクシリン(明治)・シレラル(万有)
4. メチルクロロフェニルイソキサゾリルペニシリン(MC1-PC)	メトシリンS(明治)・ブロスタフリン(日本ブリストル)
5. メチルジクロロフェニルイソキサゾリルペニシリン(MD1-PC)	クロシール(日本ブリストル)・スタフシリンA(万有)

1日の使用量は2000mgが普通ですが、MD1-PCなどではそれより少量で済みます。しかし、私達が感受性試験から検討したところでは、これらのペニシリンが臨床で効くと思えるのは30%程度でした。従って、急性の骨膜炎などに対して、ペニシリンでは大きな期待は持てないようです。このような口から服用する合成ペニシリンでアナフィラキシー・ショックが起ったという報告はまだありません。

【複合抗生物質】

抗生物質を合剤として用いるのには次の3つの意義があるといわれています。

1. 2剤の協力作用を期待する
2. 抗菌スペクトルの拡大
3. 耐性獲得の遅延

このうち、2剤の協力作用を期待することについては、あくでも期待するというだけで、時には互いの効果を消し合う拮抗作用が生じることもあります。また抗菌スペクトルの拡大といいますが、私達の領域で対象とする菌はブドウ球菌などのグラム陽性球菌ですから、意味のないことです。耐性の獲得については、時には意義のあることと思います。現在多用されている複合抗生物質には、次のようなものがあります。

TC+NB アルビオンT(アップジョン)
キャソサイクリン(明治)

TC+OM シグママイシン(台糖ファイザーク)

CP+OM クロタオン(三共)

ヘテロマイシン(山之内)

これらの複合抗生物質の配合比率は1対1か2対1です。ここで問題になるのは、例えば1対1の合剤では実質投与量は各半量となり、両剤に感受性の時には良いのですが、一方に耐性の時には必要量の半分しか投与されていないこととなります。この点から考えて、複合抗生物質を使用する場合には、やや量を多くするのが、得策です。つまり、上にあげたものでは、1日量を1500mgから2000mgは投与する必要があります。

こうした複合抗生物質のうちでも、クロラムフェニコールを主成分とするものは、やはりクロラムフェニコールを用いる場合と同様の注意が必要でしょう。

(母校口腔外科講師)

はじめに

物質の硬いか軟いかの程度を数量的に示すことは甚だ困難である。従来、歯の(硬さ)硬度を知るためには鉱物あるいは金属類の硬度測定に使用される Mohs 硬度計, Brinell 硬度計等を応用して、その硬さを知ることができた。しかし、これらの硬度計では歯牙硬組織の微細な個所を精密に測定することはできない。ところが、最近では金属硬度計の改良発展に伴い、非常に優れた硬度計が開発され、これらの硬度計を歯科医学の研究領域にまでとり入れられるようになった。即ち Vickers 微小硬度計あるいは Knoop 微小硬度計によって歯牙硬組織の極めて小さな部分の硬度の測定が可能となったわけである。

母校組織学教室においては1957年頃から Vickers 型の微小硬度計を用い、人の歯牙硬組織の微小硬度について数多くの研究を行っているが、その研究成果のうち興味深い点について概説する。

Vickers 微小硬度計による微小硬度測定法

この硬度計について簡単に述べてみると、測定方法は目的とする試料上に、ダイヤモンドの角錐(王子)を一定の荷重(単位g)により、一定時間加圧して押しこみ、それによって生じた正方形または菱形の圧痕の対角線の長さ(単位 μ)を金属顕微鏡によって測定し、その数値から硬度換算表により Vickers 硬度数を算出するのである。

測定に用いる試料(歯牙)は、その断面(縦断面、横断面)が現われるように研磨した後、その歯牙を即時重合レジンまたは硬石膏で包埋し、その断面を更に研磨滑沢にして後、測定する。

上下顎前歯珐瑯質、象牙質の微小硬度

測定部位は上、下顎前歯の唇舌の縦断面において5部位につき、珐瑯質では珐瑯境界部より歯牙表面に向けて100 μ 間隔で、また象牙質では珐瑯質と同様な5部位において、珐瑯境界部より歯髓腔に向かい、ほぼ歯細管の走行に沿って100 μ 間隔の点の微小硬度を連続的に測定した。また上、下前歯の近遠心的縦断面における測定部位も5部位で、上記と同様に珐瑯質および象牙質の微小硬度を測定した。その結果をみると、珐瑯質の微小硬度は唇舌の縦断面では平均して約375、近遠心的縦断面では同じく約363であったが、象牙質の微小硬度は唇舌の縦断面では平均して約55、近遠心的縦断面では同じく約54であった。これらの数値からみると、珐瑯質の硬度は象牙質の約6~7倍も大きいことになる。

また上顎歯牙では舌側珐瑯質が唇側珐瑯質よりも高い平均硬度数を示したが、下顎歯牙では唇側珐瑯質が舌側珐瑯質よりも高い平均硬度数を示し、上顎とは反対の結

果となった。そしてまた、近、遠心側珐瑯質についてみると、上顎、下顎とも近心側と遠心側とで硬度差が殆んど認められなかった。

唇舌の並びに近遠心的縦断面において共通して言えることは、珐瑯質において珐瑯境界部より歯牙表面に向けて硬度が増大し、最表層付近でやや硬度が減少すること、そして象牙質においては珐瑯境界部より歯髓腔へ向って500 μ 前後の層で最高の硬度を示し、それより次第に内方へ進むに従い硬度は減少し、歯髓腔付近では最小の硬度を示すことであった。

小白歯、大白歯の珐瑯質、象牙質の微小硬度

小白歯、大白歯、第3大白歯について、その唇舌の縦断面における珐瑯質と象牙質の微小硬度を測定した。珐瑯質、象牙質の測定部位は8部位で、前歯の場合と同様に微小硬度を測定した。その結果、小白歯珐瑯質の微小硬度は平均して約371、大白歯珐瑯質は同じく約361、そして第3大白歯珐瑯質は同じく約228で、第3大白歯珐瑯質の硬度は前者のものより、かなり硬度が低いことがわかった。しかし、象牙質ではそのようなことはなく、小白歯、大白歯、第3大白歯ともに微小硬度は平均して約60であった。

また、小白歯、大白歯珐瑯質の層別平均微小硬度についてみると、前歯の場合と同様な傾向を示したが、第3大白歯珐瑯質では、かかる硬度増減の傾向は甚だ不明瞭であった。象牙質の層別平均微小硬度では、小白歯、大白歯、第3大白歯ともに前歯の場合とほぼ同様な結果となった。

小白歯白亜質の微小硬度

白亜質の微小硬度について簡単に述べてみると、上顎小白歯歯頸付近部白亜質の微小硬度は平均して約22.6、歯頸 $\frac{1}{3}$ 部は23.2、根端 $\frac{1}{3}$ 部は20.5で、下顎は歯頸付近部が19.9、歯頸 $\frac{1}{3}$ 部が23.8、根端 $\frac{1}{3}$ 部が同じく19.8であった。このように白亜質の平均微小硬度は象牙質の約 $\frac{1}{3}$ であった。

おわりに

このように歯牙硬組織における各部位、各層の硬度を知ることは、歯牙の物理学的性質の一端を解明するばかりではなく、齲蝕予防の観点から歯牙の硬さと齲蝕抵抗性との関連性、あるいは歯牙の硬さと組織構造との関係の有無、また歯牙硬組織の石灰化程度を検討する上にも非常に興味ある点である。そして更に臨床的にも窩洞形成を施行する上に、あるいは歯牙と充填物の硬度とのバランス、人工歯の硬度基準等を考慮する上において常に歯の硬さということを念頭において治療することが肝要であると思う(歯牙硬組織の微小硬度に関する研究の詳細は関係学会誌に発表してあるので御参照ください)。(母校組織学教室助教授)

支部のうごき

四国ブロック東歯 同窓会発会準備会

同窓会本部よりの要請もあり四国四県でブロック会を結成の議が昨春秋より香川県支部長平田儀氏の発声にて愛媛佐藤一支部長、高知横矢重和支部長、徳島猪子寿一支部長、の間に進められ、二月十六日琴平宮間前のわたや旅館に於て、香川支部総会と同時に開催された。

当日各県より五名程度の準備委員が参会の予定であったが母校松宮先生の還暦の祝典に出席する会員もあり、又急用にて欠席もあり出席者二十三名にて午前十一時開会す。

顧問に愛媛県歯科医師会長正岡健夫氏を推薦、ブロック会長は置かず香川、愛媛、高知、徳島、の順で輪番となり母校より適当な先生を派遣願って学会と、四県同窓の懇親をはかることを目途とし今年第一回を香川県に於て開催することを協議し準備会を終る。午後〇時半より懇親会に入り、宴酣となるや愛媛久米稔先生の名取級の日本舞踊も飛び出し盛會裡に午後四時半散

会した。
愛媛、高知、徳島の先生方には雨天の中御遠路御苦勞様でした。



出席者

愛媛 佐藤 一、中島佐三、松本朝夫、久米 稔、原達也、大野喜一
高知 横矢重和
徳島 猪子寿一、西条征二
香川 平田正儀、新田重行、白井道義、後藤肇史、内田二郎橋本慶博、塩田尚文、光沢竜雄、高橋治男、安藤文子市原宗尚、黒田哲生、市原定宜、松崎剛

東歯大同窓会 愛知県連合会

総会 ― 新会長に竹内武幹氏
昭和四十年秋に開かれたままに今日まで経過した東歯大同窓会の愛知県連合会の「総会並に懇親会」が、去る一月十九日(日)から、愛知県下の各方面から八十有余の同窓諸氏の参会を得て、豊橋市の豊橋グランドホテル「瑞雲の間」で、にぎやかに開催された。

この日本部からは福島会長、大学からは大井副会長の両先生が、公私ともにご繁忙のなかを、文字通万障お繰合せ下さって、ご来席いただき、錦上更に華を添えた印象を参会者一同抱き、喜びは大きい。総会は午後二時から、伊藤君の司会で進められ、城所東三支部長の開会の辞、西村会長の挨拶、庶務・会計の報告など型通りに行なわれ、承認を得て、議事に移り、役員選挙について、慣例に従って次期会長は西三支部に一人となり、西三支部長成田喜作氏から、岡崎市の竹内武幹先生を推せんしたいとの発議に、一同拍手をもって賛成し、竹内新会長が抱負の一端を述べて就任の弁とされた。副会長、幹事について新会長に一任を議決された。要望事項として、竜尾張支部長から県下三支部の一本化を強く望まれたが、新会長の課題として処理すること、議事を終る。総会の閉会の辞

は尾張支部長竜氏。暫時休憩のあと、同じ会場で待望の親睦会が三時すぎから開始された。藤城易部幹事の司会によって、乾盃を前会長朝日奈先生に音頭を願う。福島会長先生の積る同窓会の話、傾聴している裡に、地元のキレイドコがお正月の月だけに、紋服でサービスに入場、会場は一段とはなやいで、そのにぎやかさに又和やきを増し、最高潮となる。

二三番のお座付舞踊もあって、来会者の心もなごんでいる。この間に大井副会長の母校近況報告を主としたスピーチもあり、午後五時名残はつきないが、所定の時刻のため万歳三唱でめでたく会を閉じた。

支部訪問について

彦坂報告
××××××××××
毎号本欄で各支部の行事などをお知らせいただいておりますが、前号に掲載いたしましたように編集部からも積極的に各支部に伺い各地の特徴のある実情を会報を通じて会員の皆さんに広く知っていただき、各地区同窓会支部運営のご参考に供したいと思っております。よろしくご協力の程をお願いいたします。

次号には、鳥取県支部訪問を掲載します。 編集部

次号原稿締切りは

五月十五日

4つの色調で広範囲な用途

カラープロテクトセメント

歯髄保護と同時に永久合着裏装に好適
非膜度が薄く、前装歯に賞用されます。

京東・渋谷 ネオ製薬工業株式会社

◆ 包装 ◆

ライトイエロー	30g	¥ 280
ジンジバルブラウン	30g	¥ 280
ライトグレー	30g	¥ 280
ゴールドンブラウン	30g	¥ 280
液	50g	¥ 200
1セット		¥ 1,200

クラス会だより

丁巳会

大正六年卒

五十余周年の大会のお知らせ、久しく御無沙汰しました。如何お過しですか。

丁巳会は長い間会合していませんが、東京在住の諸君と相談して、私が世話役をすることになりました。

ついでには、左記のようなスケジュールで京都の最もよいところを観光し、旧交を温めたいと思えます。

京都滞在中の一切の費用は一人一万円とし、不足分は他に都合してあります。お互に老年のことで、すから、無理でなく、しかも京都の情緒を満喫できるように計画します。

一、柘屋旅館 京都の古い伝統をもつ有名なおちついた旅館です。

一、五月十日(土) 正午柘屋旅館に集合

一、午後一時 柘屋発、バスで―吉寺―嵐山―パークウエー―高雄―梅尾高山寺―北山杉見物―帰路

一、その夜の懇親会は素晴らしい

ことを考えています。

舞妓や名妓なども京都なればこそと思います。

一、五月十一日(日) 午前九時柘屋発

A案 比叡山―根本中堂―奥比叡―琵琶湖―京都

B案 大原三千院―寂光院―詩仙堂―京都市内

昼食は柘屋近くの海庵 午後は自由、解散

一、古女房を連れてくるのも、息子や嫁でも杖の代わりに同行されるのも歓迎します。

できるだけ多く盛大にやりましょう。(岡本清観)

更生会

昭和二年卒

みぞれに降り込められた水道橋畔「かつ吉」で北村勝衛君、前田卯太雄君と山下又次郎の三人が一杯呑みながら喋りました。「かつ吉」って何処だ? 吾々の水道橋時代には無かった店ですから今度御上京の折にご案内致します。

昨年京都でのクラス会は意外に好評で「またやれよ」と激励のお言葉が圧倒的でした。それに勢を

得て次回は秋の十和田湖を計画します。秋田口から湯瀬温泉、十和田湖、奥入瀬の紅葉をむきばり、浅虫温泉で旅塵を洗って解散。二泊三日、十月十九日前後を予定しております。各位にご計画もあるやに承りますが、万難を排してこのクラス会を盛大に盛り上げて下さるようお願い致します。今回も計画は、旅行家を以って任する前田卯太雄君が一切のお世話を下さいます。何れ詳しいご連絡は前田君から差上げることになりませう。

尚青森県東津軽郡にご開業であった工藤守邦君が去る一月にご逝去なさいました。謹んで弔意を表します。(山下又次郎記)

札幌総会案内
昨年卒業四十年記念総会で今年の総会は地方総会とする事に決め、北海道を希望地と決め、増田勲君と連絡の結果札幌で開く事に決めました。奮って御参加下さい。御夫妻での参加を歓迎します。北海道では最上の気節に学友と共に一夜を過す事は老後のよい語り草となると存じます。万障差繰って、御参加下さい。

増田君の案内で札幌市内観光。北大。サッポロビール。昼食。ジロギスカン料理。雪印。月寒。藻岩山。時計台。大通。植物園。夜は定山溪ホテルにて十四会総会一泊。翌日散会。

一泊二日の総会費 約八千円
尚準備の都合があるので四月二十日厳守で御返事下さい。

十四会

昭和四年卒

総会終了後式続き希望者による六泊七日東京着の北海道巡りを計画致しております御申込下されば詳細送ります。

四十周年記念小誌を作りたいと考えておりますので四十年と今日この頃の様子を御寄稿下さい。

洪谷区初台一の十の十一
(十四会幹事 高橋初太郎)

時四十四年六月十三日、十四日午前十時。札幌駅前集合。

増田君の案内で札幌市内観光。北大。サッポロビール。昼食。ジロギスカン料理。雪印。月寒。藻岩山。時計台。大通。植物園。夜は定山溪ホテルにて十四会総会一泊。翌日散会。

一泊二日の総会費 約八千円
尚準備の都合があるので四月二十日厳守で御返事下さい。

総会終了後式続き希望者による六泊七日東京着の北海道巡りを計画致しております御申込下されば詳細送ります。

四十周年記念小誌を作りたいと考えておりますので四十年と今日この頃の様子を御寄稿下さい。

洪谷区初台一の十の十一
(十四会幹事 高橋初太郎)

三辰会

昭和七年卒

一、先般三辰会ニュース第三十四号をお送り致しましたが、到着しておりませうか。未着の場合はお知らせ下さい。

二、東京近在会員懇談会―三月二十日(木)午後六時から、学校裏のトミグルルで開催、青木、大久保、清水、根岸、近藤、吉永、木本、原島、米沢、松井の諸氏出席。昭和四十四年六月二十三日から三日間、北海道で開催予定の地方会への勧誘と、明年(昭和四十五年)大阪万国博への参加など協

議。今後の三辰会の方針などを検討、最後に、台湾の級友林金池(台中)及び呉信改(新竹)両氏の近況、台湾の模様など視察談(松井)があつて、八時半散会した。(大久保幹事長記)

蜂和会

昭和十二年卒

今回の静岡大会は、お互に顔を合せ、昔話に花を咲せることを願つて、次の計画を立てました。

会場は日本新三景の一つ日本平にあります、観光ホテルを並びました。

日時 昭和四十四年九月二十七日(土)二十八日(日)

場所 日本平観光ホテル
会費 一人 金一〇、〇〇〇円
集合 (1)観光希望者は二十七日午後一時迄に静岡駅南口前、東海軒会館に集合。

(2)ホテル直行の方には、同日午後四時に静岡駅南口ホテル行バスを用意します。

◎参加の方には詳細を改めて、御通知しますので、参加遊覧の希望不参加折返し御回答をお願いします。

日本間を希望される方は、その旨添記して下さい。

但し、日本間の室数に限りがある

ありますので多数の時は、おまかせ下さい。
世話人 三浦、大畑、田川、徳谷
森田、桐原、兎玉、山口
中村

堅久会

昭和十六年卒

本年第一回の東京及び近県在住の世話人会を去る二月八日新宿の東陽会館で開催しました所二十三名の会員が参集誠に盛大でした。席上本年度事業計画及び明年万博見学を兼ねた関西での懇親会開催計画を相談致しました。関西地区の諸兄には準備委員をお願い致しました所、心よく承知してくれまして昨年来より色々研究、打合せの結果及び先般のアンケート集計により、期日は五月下旬か、六月中旬前の金曜(夕刻現地集合)土曜、日曜の二泊を予定し、日本に於ける今世紀最大の祭典万国博を充分に見学していただき度いと思ひます。現在出席予定者は八十五名(内御家族同伴二十九組)の多数に昇り幹事を嬉ばせておりますが関西の準備委員の皆さん会場、宿泊等、大変御苦勞様ですが宜しくお願い致します。

尚卒業三十周年も近づきましたので新しい試みとして万博見学風景を写真に撮りましてアルバムを製作し全員に無料配布致す予定ですのでカメラに自信のある人(数名に依頼)は幹事迄申込んで下さい。また出席者は将来記念になる様な品物も作り度いと存じますので良いアイデアがありましたら知らせて下さい。
本年は十一月總會を山田幹事のお膝元赤坂の一流の某宴会場を紹介していただきましたので一流の料理を然も会費は安く盛大に開催する予定ですので乞御期待。
細部は次号。

二六会

昭和十八年卒

会報誌上に於て諸兄と接するのも随分久しぶりのことですが、御元気に、繁栄の日々を送っておりますことと存じます。

昨秋の總會で幹事交代があり、卒業二十七年目ともなれば、又、元に戻つて、熊谷(これは幹事の常習犯)、田中武臣、江里口、今井の四名に例により鹿内がオプザウフすることになりました。(村越は都合により辞任)幹事が替つ

たからと言つても、二六会の行事が変り榮える訳もありませんが、多少はユニークな線も打出されることでしょう。

二六会も、卒業二十五周年前後より、急激に会員子弟の母校受験が累増して来ましたが、年々アツプするその競争倍率に比例して目的を達する子弟が僅少な結果に終つている現状は誠に残念と言はねばなりません。
併し、これも時の流れとも言うものでしょう。

そこで提言を一つ。
受験適齡期の子息を持つ会員は、旧態依然たる母校依存の愚を覚り、子息の能力に冷静な判断をくだし、広い視野に立つて、その進路を示してやる必要があると痛感致します。

高度な技術革新の波に乗つて、激しい近代化を続けるこの日本が、悴を又、齒科医にするしか能がないと言つても哀れな現実ではあるが、どうしてもそのライセンスが欲しいなら、融通の利かぬ母校でなくとも良いではないですか。学校側に無駄なアプローチを続け無為な歳月を過ぎぬ様、反省すべき時ではないでしょうか。人生は短いのですから。

二六便り、本年度のスケジュールに就いては、近日中に開催する幹事会に於て決走し、次の会報誌上に報告致します。

終りに前任者、福本、船坂、板倉、三君の永年の努力に対し厚く御礼申上ます。

十六会

昭和十九年卒

十六会の諸兄には益々御繁栄のことと存じます。

前号でお知らせしました北海道に於ける總會の七月も最早やあつという間にきてしまふ感じですが。詳細については既に在道の熱心な沢田世話人代表から御案内が届いている筈ですが、二月末、同君からの電話連絡が飯田幹事にあり、それによると現在(二月末)五十数名(その中十八組は同伴)の出席回答をいたしている由です。締切日二月末日迄となっていますが、まだ返信を出していない方は至急お出し下さいとのことですが、一名でも多く出席され卒業二十五周年記念北海道總會旅行を盛大に行ないたいものです。

三月八日(土)夜新宿歌舞伎町のド真中「地球飯店」にて本年初の顔合せを兼ね東京会を開催。級友十五名(中原、坂、佐貫、坂本、山本、村田、河村、宇梶、宮下、三島、鹿野(善)、吉田、小沢、飯田、金沢、(返信受順)が集りました。席上二十五周年記念に、会誌及び記念品の発行等いろいろ案を出し合いました。何か名案があ

りましたら幹事迄御一報下さい。尚年度会費が昨年迄五百円が本年度より千円(昨年岐阜總會で決定)と値上げされましたが、本会財政些か貧弱の爲、会計金沢幹事の力で調査の上その中御願ひすることになると思ひますからクラス会発展の爲何分共宜敷く御協力の程を重ねて御願ひします。

次に前年度十月八日松風陶歯ホールでの東京会で論議された十六会会則については既に作られてあり、十五周年記念誌に掲載されてあることが分りましたので、今後会則の変更はこれに基き總會にはかつて行ないたいと思ひますが如何でしょうか。

四月以降適當な日曜日に明治製菓製薬部小田原工場見学を東京会で立案計画中、決定次第関東近県及び東京在住の諸兄に御通知しますから、其節は多数御参加あらんことを願ひます。

今会では宇梶淳君が歯科助手指導者講習会の資料として日本歯科医師会の依頼により作製されたスライド五十枚(歯科助手に対する歯科材料の取扱方、歯科麻酔薬並びに器具の取扱上上の心得等)の供覧があり、いい勉強になりました。尚、山本君の肝入りで今回は二次会も和やかに低廉で行なえました、多謝。

市川重彦君令夫人(東京)を悼む、昭和四十四年二月二十日午前

クラス会だより

クラス会だより

女兒分娩後、(赤ちゃんは無事) 狭心症発作の為急逝されました。十六会として弔電を差上げ哀悼の意を表しました。今回の東京会でもこの非報を報告、一同同君の御心中如何ばかりかと御察し申上げました。

(幹事 金沢 滋 記)

いづみ会

昭和二十三年卒

陽春の候、会員の皆さんにはますますご活躍のことと存じます。昨秋のクラス会は、学校疎開の想い出の地を、当時起居を共にしました恩師近藤三郎、加藤倉三両先生を囲みながら訪ね、まことに盛会でした。

さて、今回は昨年河合兄の欧米視察のため延期しました中久喜、河合両兄の教授就任祝賀会を行ないたいと思います。開催地は東海地区の有志諸兄のお骨折りで、河合兄の出身地岐阜に決まりました。なおその席に卒業時のクラス主任恩師長尾喜景先生をとお招きしておりますので、奮ってご参集下さい。

記

とき 七月十九日(土) 午後

三時集合 五時鶴飼見物

ところ 岐阜・長良川畔 鐘秀館(しょうしゅうかん) 電話(〇

五八二) 六四一九二三一

会費 八、〇〇〇円 (翌日の

観光希望者は二、〇〇〇円追加)

家族同伴歓迎十九日午前ゴルフ、

詳細は会員各位にお知らせします。

(在京幹事)

いとし会

昭和二十四年卒

昨秋十一月九日、霞ヶ関ビルにて行なわれた、いとし会総会は、出席者五十名に及ぶ多数の御参加得、なかなかの盛会でした。今年も早いもので卒業二十周年を迎えます。総会の折どこかえ旅行をと言う意見が多かったので、森本会長はじめ幹事一同案を練っているとあります。決まり次第御通知いたします。記念すべき年にあたり多数の御出席を今から心待ちにいたしております。

お知らせが前後して申しわけありませんが四十二年度の総会にて、昨年度から幹事が変わり、小山村田、風間、徳植、古谷、加藤、大塚の諸兄と大島がお引受けする

ことになりました。長井君をはじめとする前幹事諸兄程には、至らぬ点もあるかと思いますが、どうぞよろしく。遅ればせながら、御報告いたします。追伸 東京会館にて集めました、義援金は宮下先生の所え小山君が持参致しました。

一期会

昭和二十八年卒

◇一期会の皆さんお元気ですか。昨秋、京都での第四回総会(昭43・10・27)にて、皆さんのおすすめにより会長を相務めさせて頂いたことになりました。ご協力をえて、一期会の発展を期したいと委員ともども考えております。

◇新委員はつぎの通りです

会長―坂田。副会長―佐藤徹、

関根。企画―大森、片倉、宝田、

山本。庶務―羽賀、佐藤徹、津島

石塚、荘。会計―見明、相田。

見明君と大へんな会計を担当してくる相田君は全くの新顔です。

◇本年の関東支部会は六月十四日(土)に行なうことになりました。

場所、時間などは追ってお知らせ致します。各支部からも大勢で出席下さいますようお願い致します。

◇お知らせ

羽賀君帰国一八ヶ月間の欧米視

察を終え二月十五日元気に帰られました。今後のご活躍がみものです。

木屋君転居―千葉市花見川団地

2番44棟10号

松本君開業―千代田区永田町2

丁目10番2号TBR(東京ビジネス

スレジデンス) 八一四号室松本齒

科 電話 五八一―九五一八

会員各位のご様子は当分本紙にてお知らせしたいと考えております。ことの大小をとわず、記事を送って下さい(坂田記)。

五期会

昭和二十二年卒

しばらく同窓会報からごぶさたしておりましたが、諸兄姉お元気に御活躍のことと存じます。

すでに幹事会の方から個々に通知が届いていることと思いますが

本年度のクラス会は、石崎、新谷

ら諸兄のお世話により、北陸路にて行なうことになりました。奮って御参加下さらんことをお願いいたします。会当日早朝からゴルフ大会も計画しました。このためには前日参集し、一泊の必要がありますが、是非多数の御参加を希望いたします。念のため、場所、日

時を簡単に記します。

クラス会

場所 片山津温泉 松濤園

日時 九月十四日(日) 翌十日

五日(祭) 解散

ゴルフ大会

場所 片山津ゴルフリンクス

日時 九月十四日(日) 早朝

より、クラス会まで、

前日十三日(土) 夕刻

までに松濤園に集合

幹事の一人石川融兄は、長年の

研究が実り、この度学位論文を提出、めでたく審査会をパスされました。御同慶のいたりです。

(吉木 記)

編集部より

××××××××××××××××

◆毎度のことですが、クラス会だよりは、できるだけ簡潔

にお願ひします。

◆次号は、三十二頁の雑誌形式になります。支部の話題や、地方

の行事紹介、随筆等とどしどしお寄せ下さい。

◆裏表紙用の季節の風景写真をお送り下さるようお願いいたします。

◆本誌を通し、会員相互の話し合いをしたいと思います。

ご意見、ご希望なども是非。

発行所 東京都千代田区三崎町二丁目九番十八号

電話 東京(二六)三四二二(代)

編集兼発行人 渡辺 富士夫